

大学院特別講義

(医 歯 学 先 端 研 究 特 論)

(生 命 理 工 学 先 端 研 究 特 論)

(医 歯 理 工 学 先 端 研 究 特 論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 徳島文理大学・香川薬学部

薬理学講座教授 神経科学研究所長

小西 史朗 先生

演 題： 小脳皮質の GABA 作動性神経回路における

シナプス間クロストーク

日 時： 平成 25 年 1 月 7 日 (月) 17 時 30 分～19 時 30 分

場 所： M&D タワー 13 階 大学院講義室 2

内 容：

典型的な神経伝達では、形態的に厳密に決められた点と点を結ぶシナプス結合によって、軸索終末から放出された伝達物質は興奮性あるいは抑制性信号をシナプス後細胞へと仲介している。一方、最近の研究によれば、シナプス間隙へ放出された神経伝達物質は、拡散によって隣接するシナプスへも作用して、同じシナプス標的に集合する別の神経回路の伝達強度を変化させることが示されてきた。このような伝達の調節様式は、異シナプス性相互作用あるいはシナプス間クロストークと呼ばれている。ここでは、小脳皮質の抑制性GABAシナプス周辺における異なるシナプス間のクロストークの例をいくつか紹介して、その生理的意義を検討します。

【連絡先】 システム神経生理学分野 杉原 泉 (内線 5152/5153)